

マシキマチ 益城町

総人口…33,113人 男…15,914人 女…17,199人 世帯数…12,420世帯
(人口構成比) 15歳未満…15.9% 15～64歳…53.5% 65歳以上…30.6%
※データは令和6年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。



西村 博則 町長

熊本地震により大きな被害を受けた本町では、震災から得た教訓を活かし、協働・共創のまちづくりに取り組んでいます。その取組のひとつとして、震災以前よりも魅力あるまちへ発展することを目指し「益城町バージョンアップ大作戦」を立ち上げました。

本町の目指す将来像「住みたいまち、住み続けたいまち、次世代に継承したいまち」の実現に向けた取組にご興味をもっていただける企業様からの支援を心よりお待ちしております。



- 寄附御礼**
- ・贈呈式開催(首長出席、寄附額100万円以上)
 - ・感謝状贈呈(寄附額100万円以上)
 - ・地公体広報誌掲載
 - ・HP掲載
 - ・視察受入
 - ・功労者表彰推薦
 - ・紺綬褒章推薦
 - ・その他

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み



カテゴリー4 児童福祉

子どもが笑顔で誰もが主役になれるまちづくり

家庭・学校・地域が一体となって子どもたちを育て、子育てにかかる負担や不安を解消し子育てを楽しむことができる環境を整えることで、子どもたちが元気に笑顔で過ごすことができる町を目指します。また、地域コミュニティや文化活動、スポーツ活動などの「つながり」を起点として、それぞれの活動を応援することによって、みんなが主役になれる活気があふれた町を目指します。



児童・幼児用遊具もある潮井自然公園



カテゴリー1 産業振興・企業誘致

活気のある地域力でみんなに選ばれるまちづくり

農産物の特産品づくりやブランド化等、農業の活性化に向けた取組や、企業誘致や創業支援を図ることごとづくりを推進します。また、町の復興状況や子育て環境、恵まれた立地を町外に発信するとともに、地域資源等を活かした住民主体の活動の推進・周知を図ることで、交流や関係人口、ひいては移住定住者の獲得に繋がります。



益城町ぎゅぎゅとマップ

第2期益城町まち・ひと・しごと創生推進総合戦略

第2期総合戦略4つの政策目標

基本目標

1

安心・安全な暮らしを守り地域間の連携を進めます

生活の環境や基盤の整備や、生活利便性の向上を図るなど、安心して暮らせるまちづくりを住民や関係機関等と連携して推進します。

基本目標

2

若い世代の移住・定住の流れをつくります

移住を検討している若い世代に興味を持ってもらい、足を運んでいただくため、交流人口や関係人口の拡大を図る政策を推進します。

基本目標

3

希望に沿った子育て等ができる環境をつくります

結婚・出産・子育てがしやすい魅力的な生活環境を整えるため、子育て環境の整備や相談体制の構築に取組みます。

基本目標

4

多世代にわたって安定した雇用を創出します

本町の特徴を活かした企業等も視野に入れながら、魅力ある「しごと」づくりを行い、若者を中心とした多世代の就労を支援します。

益城町



益城町バージョンアッププロジェクト

(SDGs)関連するゴール



- 総事業費** 500,000千円 寄附目標額 —
- 数値目標**
- 住み続けたいと思う市民の割合 …… 250万人
 - 子ども人口 …… 5,200人

熊本地震からの復興と新たな人の流れやにぎわいの創出を目指し、官民共創により教育やまちづくり、観光など様々な分野で新事業を推進し、関係人口の拡大や未来を担う人材の育成を図ります。自然豊かな公園の整備などによる「子どもバージョンアップ作成」、創業支援やロードレース等スポーツ大会の充実と文化財施設の整備を通じた「まちの魅力バージョンアップ作成」、自主防災組織の充実などを目指す「防災バージョンアップ作成」、教育旅行の誘致などによる「集客への取組バージョンアップ作成」に取り組んでいます。



益城町バージョンアップ大作戦!

寄附の具体的なメリット

震災からの復興と同時に取り組む当プロジェクトでは、資金やノウハウ面でご支援いただける企業を募集しています。寄附にご協力いただいた際には、創業支援拠点のサテライトオフィス利用や再生古民家でのワーケーション活用、町内での社員研修などを積極的に提案させていただきます。

寄附申出書の事業名選択時は「益城町バージョンアッププロジェクト」を選択してください。



復興まちづくり支援施設プロジェクト

(SDGs)関連するゴール



- 総事業費** 90,000千円 寄附目標額 —
- 数値目標**
- 交流人口 …… 250万人
 - 益城町は生活しやすい … 町内アンケートによる満足度0.48→1.00%

役場の南に位置にする「にじいろ」は、子どもからお年寄りまで自由に利用できる交流と住民活動の場所であるとともに、平常時は自主防災組織等の活動に、災害時は応急対策のスペースに活用する災害に備える場所とすることを施設の基本方針として、地域住民と一緒につくりあげる「わくわく」の生まれる場所を目指しています。また、複合施設「地域共生センター」は、地震により被害を受けた益城町公民館、男女共同参画センター、地域ふれあい交流館の再建と多世代交流、地域活性化の拠点となることを目指しています。



復興まちづくり支援センター「にじいろ」

寄附の具体的なメリット

復興まちづくりセンター「にじいろ」や複合施設「地域共生センター」の整備や利用方法について資金面や企画提案などでご支援いただける企業を募集しています。本町の古くからの中心であり、復興の事業も進む木山地区において、「にじいろ」や「地域共生センター」が地域の拠点となるよう応援いただける企業をお待ちしています。

寄附申出書の事業名選択時は「復興まちづくり支援施設プロジェクト」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。